

非線型科学

コロキウム

Nonlinear Science

Colloquium

講演者：小谷 元子 / 東北大学大学院理学研究科 教授

Motoko KOTANI / Tohoku University

講演題目：数学による材料科学への挑戦ートポロジカルな視点で

数学と物理はお互いを刺激の源として発展してきた。

最近のナノテクノロジーや観測技術の発達により、

数学理論と物理現象のよりよい関係が期待され、

両者の関係は新しいフェーズにはいった。

特に、複雑な幾何構造が物質の機能につながる仕組みを

トポロジーの視点で研究するアプローチが始まっている。

本講演では、いくつかの萌芽的研究を紹介したい。

日時：2015年5月13日（水）18:00~19:00

場所：早稲田大学西早稲田キャンパス
55号館S棟2階 第3会議室

非線型科学コロキウム

早稲田大学理工学術院先進理工学部応用物理学科

組織委員：大谷 光春 山崎 義弘

原山 卓久 小澤 徹

連絡先：小澤 徹 研究室

早稲田大学理工学術院西早稲田キャンパス55号館N-3-10

03-5286-8487 / 内線 73-3564

txozawa@waseda.jp / 秘書：a.kanayama@kurenai.waseda.jp